

入場者 100,000人を目指し見学枠を増やして開催！

人気の3コース！

### 大人気！ 地下神殿コース

- ◆定員:50名
- ◆所要時間:約55分
- ◆料金  
お1人様:1,000円  
(税込)



人気No.1の地下神殿コースの見学枠を増やし、参加していただく機会を拡大して皆様に首都圏外郭放水路の空間を体験していただくと共に、防災の大切さを防災コンシェルジュがご案内いたします。

### 迫力満点！立坑体験コース

- ◆定員:20名
  - ◆所要時間:約110分
  - ◆料金 お1人様:3,000円(税込)
- 深さ70メートルの竖穴を歩く



### 深部を探る！ポンプ堪能コース

- ◆定員:25名
  - ◆所要時間:約100分
  - ◆料金 お1人様:2,500円(税込)
- 日本国内唯一のポンプ設備



### 見どころ満載！インペラ探検コース

- ◆定員:20名
  - ◆所要時間:約110分
  - ◆料金 お1人様:4,000円(税込)
- お客様からのリクエスト第一位



## 新発売!! 防災ツアーラインナップ新設コース

### 地下河川を歩くアドベンチャー体験コース

#### ★コース概要・申し込み詳細

- ◆開催時期:令和7年4月16日(水)から月1回  
(開催月:4月・5月・11月・12月・1月・2月・3月)
- ◆定員:16名(最少催行5名) 予約制 詳細はWEBにて
- ◆見学料金:お1人様 15,000円(税込)  
小中学生も同額です 小・中学生は高校生以上の同伴が必要です  
未就学児は保護者同伴でも参加はできません
- ◆予約開始:令和7年3月14日(金)11:00より
- ◆予約方法:インターネットWEB 首都圏外郭放水路公式HP  
(URL:https://gaikaku.jp/) ※令和7年3月3日から情報掲載  
TEL 048-747-0281 (月~金曜 9:00~16:30)
- ※大雨の影響により見学会が中止となる日もあります  
詳細は予約受付WEBにてご確認ください



13:00 出発 ~ 見学会約240分 ~ 17:00 解散

#### 新たなインフラツーリズムコースの開発(年間限定100名) 未知なる「地下河川を歩くアドベンチャー体験コース」

これまでの公開されている見学のメインである防災地下神殿や第1立坑に、新たに第3立坑(地下トンネル)を見学箇所を追加した「アドベンチャー体験コース」にあなただけを招待。防災の大切さ、技術者の思いや工夫を体験できるスペシャルコースです。参加者には「龍Q防災博士」の認定証を贈呈いたします。

### マイクラフト防災学習コース

#### ★コース概要・申し込み詳細

- ◆開催時期:令和7年6月から月1回(土曜日もしくは日曜日)  
(夏休み期間は月2回から3回)
- ◆定員:30名 予約制 詳細は4月よりWEBにて公開
- ◆所要時間:約120分(マイクラ学習60分・地下神殿見学60分)
- ◆見学料金:お1人様 4,000円(税込)
- ◆予約開始:令和7年5月から
- ◆予約方法:インターネットWEB 首都圏外郭放水路公式HP  
(URL:https://gaikaku.jp/) ※令和7年4月からWEBにて情報公開  
TEL 048-747-0281 (月~金曜 9:00~16:30)

#### 参加者による「マイクラフト防災学習コース」

#### 世界で爆発的に流行しているゲーム「マイクラフト」 新たに首都圏外郭放水路にマイクラフト防災学習コースが登場

- ①開閉できる水門を作成  
ロジカルな思考が要求されるレッドストーンを使って、第3立坑流入水路に開閉可能な水門を作成。水門の開閉と連動した周辺領域の水位から、施設の機能や治水効果を体験できます。
- ②マイクラでしかできない外郭体験  
マイクラフトの世界で、ツアーでは見ることができない場所に入ったり、施設が稼働する様子を間近で観察するなど、話を聞くだけでは得られないマイクラフトならではの体験ができます。これにより、その後の見学ツアーへの理解が一層深まります。

#### ◆マイクラフト防災学習コースのご案内

- 本学習は講師が講義を進めます。
  - コース参加時はパソコンをご持参ください。パソコンのレンタルもご用意していますが台数に限りがございます。レンタルをご希望の方はコース申込時に申し付けください(有料)。
  - 大雨の影響により見学会が中止となる場合がございます詳細は予約受付WEBにてご確認ください。
  - 詳細につきましては4月以降に首都圏外郭放水路公式HPよりご案内いたします。
- 学習監修:株式会社ガリレオ・プロジェクト

#### 見学会のご案内

- ◆開催日時:毎日10:00~16:00(見学会の最終終了時間は17:00)

※施設点検等により開催されない日もありますので、見学会の開始時間等は首都圏外郭放水路ホームページをご参照ください。  
※ポンプ運転開始後は地下施設を見学することはできません。

- ◆開催場所:首都圏外郭放水路 管理支所(龍Q館:埼玉県春日部市上金崎720)

- ◆申込方法:首都圏外郭放水路ホームページ  
または電話にて受付! TEL:048-747-0281 (9:00~16:30)

詳しくは、首都圏外郭放水路WEBサイトへ

首都圏外郭放水路 検索



国土交通省インフラツーリズム魅力増進プロジェクト 公共インフラを新たな観光資源へ



新しい日本の観光提言  
本格的な「防災ツーリズム」がスタートします

国土交通省の新たな挑戦!  
気候変動で激甚化する災害から国民の命を守る

# 防災地下神殿 「首都圏外郭放水路」

## 8つのパワーアップ計画

災害から自らの命を守る「災害の<sup>他人事</sup>自分事化」100,000人計画始動!  
新設した「防災コンシェルジュ」があなたの命を守る備えを楽しく解説します



#### 【災害の自分事化を推進】

「災害から命を守る自分事化カード」を見学者全員に配布し、「防災コンシェルジュ」が皆様の大切な命の守り方を解説

(イメージ)



#### 【光と音の異次元体験】

防災地下神殿をライトアップし、光と音で幻想的な空間を演出。

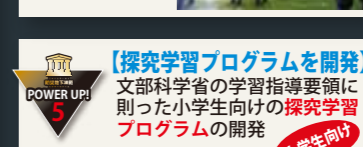


2025秋スタート!



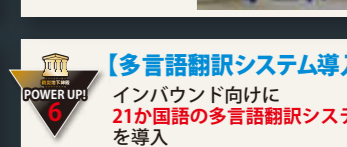
#### 【第3立坑新規公開】

首都圏外郭放水路のすべてが体験できる月一回・年間100名限定の「地下河川を歩くアドベンチャー体験コース」が登場

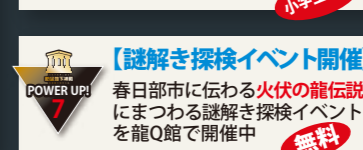


#### 【マイクラフトの世界で再現!】

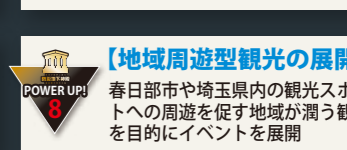
世界的に流行しているゲーム「マイクラフト」で、首都圏外郭放水路の防災を学べるマイクラフト防災学習コースが6月から登場



【探究学習プログラムを開発】  
文部科学省の学習指導要領に則った小学生向けの探究学習プログラムの開発



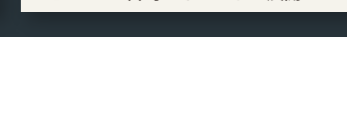
【多言語翻訳システム導入】  
インバウンド向けに21か国語の多言語翻訳システムを導入



【謎解き探検イベント開催】  
春日部市に伝わる火伏の龍伝説にまつわる謎解き探検イベントを龍Q館で開催中



【地域周遊型観光の展開】  
春日部市や埼玉県内の観光スポットへの周遊を促す地域が潤う観光を目的にイベントを展開



企画運営



協力



東武鉄道アーバンパークライン南桜井駅をご利用ください。



新しい日本の観光提言  
本格的な「防災ツーリズム」がスタートします

## 国土交通省の新たな挑戦！

『災害の **他人事** でなく **自分事** 化 **100,000人** へ』  
(※2024年入場者数 約 6.2万人)

# 防災地下神殿「首都圏外郭放水路」の **8つ** のパワーアップ計画

## 8つのパワーアップ計画とは…



### 災害の自分事化を推進

新たな「防災コンシェルジュ」の設置と、「災害から命を守る自分事化カード」を開発

国土交通省江戸川河川事務所が、「災害の自分事化」の伝道師として、防災コンシェルジュを認定。新たに開発した自然災害への備えを簡潔にまとめた「災害の自分事化カード」を全ての見学者に配布し、「防災コンシェルジュ」が大切な命の守り方を楽しく丁寧に解説。「災害の自分事化」へ向け年間10万人の来場者を目指します。



防災コンシェルジュによる案内



(イメージ)



### 光と音の異次元体験

防災地下神殿をかつてない規模で **ライトアップ**

防災インフラ施設である首都圏外郭放水路に多くの国民や全世界の方々にご来場いただくため、各種インフラの中でも、大胆な発想で防災地下神殿をライトアップ！光と音で立体的な空間を構築し、他では味わえない特別な体験を提供します。



(イメージ)



### 第3立坑新規公開(年間限定100名)

未知なる「地下河川を歩くアドベンチャー体験コース」

徳川家康によって始められた利根川の東遷。中川・綾瀬川流域では、以来約400年にわたって度重なる氾濫被害を受けていました。こうした被害への特效薬として建設されたのが首都圏外郭放水路です。現在公開されている“全て”の見学箇所新たに第3立坑(地下トンネル)を追加し、首都圏外郭放水路のすべてをご案内する「アドベンチャー体験コース」が登場。技術者の思いや工夫、防災の大切さを体験できるスペシャルコースです。参加者には「龍Q防災博士」の認定証を差し上げます。



## 日本が世界に誇る国の防災施設を世界一の観光資源に育てる！

気候変動により全国各地で過去に例のない集中豪雨や大型台風が起こるなど、激甚な災害の危機が迫っています。これに対応するため、国土交通省では、災害から自らの命を守る「災害の自分事化」を推進しています。「災害の自分事化」とは、国民一人ひとりが災害についての知識や災害に対する理解を深め、対策を考え行動することを指します。

今回の舞台である首都圏外郭放水路は、首都圏の地底50mを流れ、日本が世界に誇る最先端の土木技術を結集して建設された、世界最大級の防災目的の地下河川です。

新たに「観光の視点」で子供から大人まで、楽しく防災の知識を身に付けられるよう、首都圏外郭放水路を情報発信基地として更にパワーアップさせ、国民の防災意識を向上させるべく「防災ツーリズム」のプロジェクトを立ち上げ、8つのパワーアップ計画を考案しました。これらの取組を通じ、年間約6.2万人の見学者数を10万人まで引き上げながら「災害の自分事化」をさらに推進していきます。



### 首都圏外郭放水路を「マインクラフト」の世界で再現！ 新たにマインクラフト防災学習コースが登場！

世界のZ世代の10人に1人が遊んでいる大人気ゲーム「マインクラフト」の世界で、首都圏外郭放水路を再現しました。こども達の想像力を駆り立て自由に探検できます！難しいと思われがちな防災について、ゲームを通じて楽しく遊んで学べる教材としてWebで4月に公開。マインクラフト防災学習がセットになった新たなコースも6月からスタートします！



### 小学生向け探究学習プログラムの開発

これまでの社会科学の枠組みを超え、小学生に自然災害の脅威や「災害の自分事化」を広げるために、文部科学省の学習指導要領に則って作成した探究学習プログラムの提供を4月から新たに開始します。



※探究学習の出前授業実施(学校数限定)

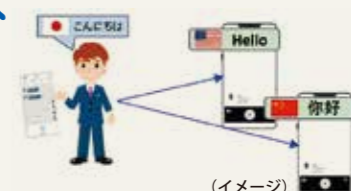


(イメージ)



### 首都圏外郭放水路の説明が21言語対応へ

昨年、過去最高を記録したインバウンド需要に対し、埼玉県および春日部市の新たな観光資源として観光庁のインバウンド施策と連携し、世界に誇る日本の防災技術と土木技術を発信するため、これまで日本語のみで提供していたガイドから多言語翻訳システム「VoiceOn」によって21言語対応に進化しました。



(イメージ)

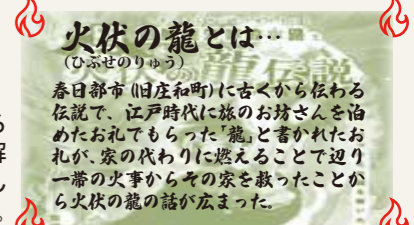
| 対応言語: 21言語                                                                                                                              |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日本語・英語・中国語(簡体字/繁体字)・韓国語・インドネシア語・タイ語・ベトナム語・ミャンマー語・ポルトガル語(ブラジル)・スペイン語・フランス語・フィリピン語(タガログ語)・クメール語・ネパール語・モンゴル語・ロシア語・ウクライナ語・ドイツ語・イタリア語・ヒンディー語 |



### 龍Q館を巡る謎解き探検イベント 「首都圏外郭放水路と火伏の龍伝説」が登場！

首都圏外郭放水路の広報施設「龍Q館」を舞台に、春日部市(旧庄和町)に伝わる「火伏の龍伝説」にまつわる謎解き企画を展開。謎解き探検イベントを通じて、謎解きファンはもちろん、若年層から各世代の方々を楽しみながら、防災の知識を学んでいただけます。また見学会にご参加されない方も、楽しんでいただける企画です。

無料



### 埼玉県及び春日部市の新たな周遊型観光の拠点化

本プロジェクトによる首都圏外郭放水路への10万人の来場者を春日部市内や、埼玉県内の観光スポットへ周遊を促すことで、「地域が潤う観光」を進めます。地域のイベントや、お祭り、四季折々の旬な食べ物や自然を織り交ぜながら、春日部と周辺の見どころを巡る、地域と連携したイベントを展開します。



国土交通省 関東地方整備局 江戸川河川事務所長 小池 聖彦

### ごあいさつ

首都圏外郭放水路は、中川・綾瀬川流域の洪水対策として極めて重要な役割を果たしており、その規模と技術は世界に誇ることができるものです。本プロジェクトは、首都圏外郭放水路のインフラツーリズムを大きく飛躍させ、周辺地域にとって大きな財産になると考えております。「災害の自分事化により、自らの命は自ら守ること」をテーマに、楽しく防災を学ぶ取組です。これを契機に、日本の技術を「防災ツーリズム」として世界に発信し、施設の役割や重要性を理解いただきながら、皆さんの中で、災害を「自分事」として考えるための一助となれば幸いです。最後に、跡見学園女子大学准教授 篠原靖先生、春日部市 岩谷一弘市長をはじめ、首都圏外郭放水路活用協議会の皆様にご多大なるご指導、ご尽力を賜りましたこと、御礼申し上げます。